



＝ いまの憲法が私たちの暮らしを護る ＝

## 国民は苦しく貧しくなった” コロナが教えた自民党政治と選挙

昨年春以来の新型コロナウイルス禍が一向に衰えようとしないうちに、年末までに更に厳しい第六波が来ると予想されている。これまでの政府の対応は予防と対応ともに失敗したと言わざるをえない。感染症への対処は検査と隔離であるが、政府は五輪開催に拘り基本的な処方すれば死に至る病とはいえないものを、無為に感染者、死者とも増大させてきた。徹底した検査で感染者を特定し臨時施設に隔離、次に国立など公的病院をコロナ専門へ転換し民間を含む医療体制の再編は憲法、また法律で可能だ。感染拡大の最大の要因は家庭内感染であるいま「自宅療養」はもつての外であり、国民の命の放棄

と言わざるをえない。自民党政治は民主党政権三年があつたとはいえず、バブル崩壊以来の長期政権により国民生活を低迷させてきた。経済指標は悪化の一途をたどり、男女平等は先進7カ国では最下位、報道の自由などあらゆるジャンルでもはや先進国とはいえなくなった。非正規は4割に達し、時給は韓国に抜かれます。ますます貧困を固定化させつつ、逆に消費増税分は大企業また富裕層の優遇に当てている。この構造はコロナもあいまつて国民を更に苦しめ貧しくしている。放蕩の振舞いに耽る自民党政治に私たち国民はいま気づかなければ更に消費税率上げ、社会保障切り下げなどで搾り取られる。

ここで国政選挙について、固定化している票の3・2・5の概数を考えてみたい。自公で3、野党2そして無投票を5とすれば、自公は3+5で実に8割となり国民が現状を可としてきた。この秋の選挙で自公支持3はそのままとし、無投票5が4となり1が野党支持にまわれば与野党間に拮抗と緊張が生じる。このとき国政をガラリと転換できるチャンスが来る。30年近く低落傾向を許してきてしまったが、回復のエネルギーは5の内の1にあるのではない。

またもな生活に復元させるには時給、子育て、教育、介護、直近ではなぜPCR検査を諸外国並みにできないのか、なぜ辛いのに入院させな

いのかなど全て政治に関わっているとしてお互いが気軽に語り合いたい。無投票5が4になり3対3となるよう力を注ぎたい。自民党政治はもういいよと多くの方に共感いただけることを望むばかりだ。

※1 日本国憲法第25条  
※2 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第16条の2  
・独立行政法人国立病院機構  
・独立行政法人地域医療機能推進機構法第21条

### 平和のつどい 2021

主催 平和のための戦争実行委員会

### 戦争を知らない子どもたちへ 戦争の記録と記憶を語り継ぐ

I部 10月28日(木)～11月2日(火) 市役所1階 市民ギャラリー

80年前のアジア太平洋戦争当時、戦地へ向かう兵士への寄せ書きや国民を戦争に駆り立てた資料がいろいろ。中でも子どもの晴れ着の布地模様まで戦争が感じられる物など新たに掘り起こされた資料が加わります。このほか原爆のパネル、戦時中の食事など多彩な内容です。コロナ感染防止中。マスク、検温など対策をとって是非お出かけください。

II部 11月21日(日)

映画「沖縄スパイ戦史」と三上智恵監督のリモート講演も予定しています。詳しくは次号でお知らせします。



### 今月の予定です

皆さん 気軽に参加ください

10月3日(日) 13:30～16:30

DVD視聴と「2030年未来への分岐点」持続可能な未来のために

意見交換

南部梅郷公民館

南地域九条の会

10月9日(土) 13:30～16:00

野田・九条の会 平和展の展示から学ぶ「こうして80年前の日本社会と9月例会 国民生活は軍国・戦時体制の一角に染まった」

梅のホール 研修室

解説: 栄谷竹生さん

野田・九条の会

10月19日(火) 13:30～15:30

テレトーク ちょっと暖かな 《PC、スマホでの申込み先》

Google meet

「おしゃべりカフェ」

n.katagiri88@gmail.com(片側)

PC またスマホで話そう。

野田・九条の会

10月29日(金) 16:00～17:00

9の日 行動

九条通信配布・ボードでアピール

<<緊急事態宣言が解除されていたら行きます。>>

梅郷駅 通路

野田・九条の会

11月7日(日) 13:30～16:30

DVD視聴と意見交換

「アイヌ民族は北の大地の先住民!アイヌの今を知り今を考える」

南部梅郷公民館

南地域九条の会



## ぼーつと生きてては安心はやって来ない

衆議院議員の任期は4年、その間に国民の意見を聞こうとなれば解散して選挙が行われる。今回はそれもなく11月で任期満了となろうとしている。

この任期の4年間何も問題がなかったのだろうか。安保法制で憲法9条は骨抜き、国防予算は増大、消費税は5、8、10%へと増税の一途だがそのお金はどうしたのか。福祉はよくなった？そのあげくコロナ禍がやってきた。病床が足りない、スタッフが足りない、保健所はてんやわんや、そして死にそうになっても入院できず自宅療養だつて。こんな状況で行われる長らく待たされた衆議院選挙、何を基準に選べばいいのか。自民党は今の世の中を見ればわかる。

では野党はどうか。9月8日「安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合（市民連合）」が呼びかけ、野党4党（立憲、共産、社民、れいわ）が共通政策に合意した。市民が野党4党を結び付けた。いいじゃない！

政策を見てみよう。違憲部分の廃止から公平で透明な行政まで、6ジャンル20項目ある。私たちの願いである平和を求める項目は日本国憲法の精神に基づきあらゆる外交努力で行うと言っている。そこで6項目の中から特に関心の寄せたいところを見つけてみよう。

項目の3。「格差と貧困を是正する」を考えてみる。「最低賃金の引き上げや非正規雇用、フリーランスの処遇改善により、ワーキングプアをなくす」とあ

る。そして「・・住宅、教育、医療、保育、介護について公的支援を拡充し・・・」そうだ、このまえ女性学、ジェンダー研究で有名な上野千鶴子氏が言っていた。「介護は資格のない人でもできるように変わってしまったのですよ。人件費の切りつめ、介護保険の後退です」と。そう介護というあんな大変な仕事を、介護保険ができる前は女性、特に嫁の当然の仕事として無償で行われてきた。それが介護保険のおかげで仕事として出来てきたのに、また安い労働として扱われることになる。すると大変な仕事に加え賃金が安ければ人は集まらない。介護事業所が減っていく。頼もうとしても難しくなる。このことは若い働く人たちの問題でもある。周りを見てもパートで働く人のなんと多いことか。高齢になり寝たきりになっても、認知症になっても生きていかなければならない。その時どんな暮らしができるのか。

今度の選挙は自分に直面している課題にてらして投票に行きましょう。ぼーつと生きていては5才児に叱られてしまうかもしれません。

### 市民連合による「衆議院総選挙における野党共通政策の提言」

1. 憲法に基づく政治の回復
2. 科学的知見に基づく新型コロナウイルス対策の強化
3. **格差と貧困を是正する**
4. 地球環境を守るエネルギー転換と地域分散型経済システムへの移行
5. ジェンダー視点に基づいた自由で公平な社会の実現
6. 権力の私物化を許さず、公平で透明な行政を実現する

### 🌻 初秋の散歩で願ったこと 滑川邦子

コロナで行動が制限される中、外気を吸いに里山公園へ出かけました。夏の名残の日差しを歩いていくと若い女性が道端に座り本を広げています。「こんにちわ」と通り過ぎようとして呼び止められました。書類を見せ、どうしたらよいか教えてほしいと言うのです。外国の方でした。見ると漢字ばかりの健康保険料の納付書です。何枚もある用紙に戸惑い、額の大きさにも困った様子でした。2年前ベトナムから国立農業大学卒業後すぐに来日。北海道でトマトの仕事をしていたといいますから技能実習生だったのかもしれませんが。最近野田の兄の家へ移って求職中。無収入の身に前年の収入に応じた請求が来たのでした。納付方法を説明し、困りごとは市の窓口で相談に乗ってくれるはずと伝えつつ、担当者の親

身の対応を願いました。

読んでいたのは日本語の教本でした。介護施設の面接を受けて結果待ちとか。報酬の低さから人手不足気味と聞く介護施設。その場しのぎに外国人を安く雇い、不要になれば真っ先に切るなどの理不尽に会いませんように。「法律は守っています」と言う彼女の言葉に外国人として様々な不安があるのを感じました。それでも明るい笑顔で前の職場では親切にしてもらった、運の悪い人もいるが自分は幸運だったと語ります。「採用を祈っていますよ」とお茶を作る遠いご両親の心配を思いつつ別れました。

秋めく風に赤と白の彼岸花が揺れていました。

